

第1回富山県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会における主なご意見

要旨	対応する主要施策等
元気なお年寄りに地域を巡回してもらってはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等による地域社会の担い手作りの推進 ・保健・福祉・生きがい作りのボランティア養成
生活支援、介護予防、生きがいなどは地域の社会福祉協議会の役割が大事であり、その活動を応援するような内容があってもよいのでは。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等による地域社会の担い手作りの推進 ・生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進
在宅で母の介護をしているが、ショートステイは1～2ヶ月前に申し込みが必要であり、老人ホームは200人待ちで入れない状況である。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した在宅サービスの充実 ・重度者を支える施設ケアの充実
市町村は特養やグループホームを増やそうとしているが、高齢者数が増え続けるわけではない。富山県は既に施設サービスが充実しており、それを活かすべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度者を支える施設ケアの充実
医療と介護の連携については、県内地域ごとに課題が違う。地域包括支援センターなどが中心となり考えていかないといけない。	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関し、市町村の温度差が大きいと感じる。今回の制度改正で予防給付の一部が市町村事業に移るが、地域格差が生じるのが心配である。 ・家族のいない要介護高齢者宅の整理整頓についても計画で考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防サービスの基盤整備の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症については、幅広い啓発活動が第一歩だと思う。 ・認知症は早期発見はもちろん、早期支援・早期ケアが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の普及啓発と予防、早期発見・早期対応の推進
認知症について、在宅での生活を進めることに重点を置いた施策を進めるのはよいが、まだ理解が進んでいない。一人暮らしも増える中、近隣住民の協力を得るため、認知症について正しく理解してもらうことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の普及啓発と予防、早期発見・早期対応の推進、地域における支援体制の整備
認知症で身寄りのないお年寄りが亡くなられた場合の財産管理も問題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の推進と相談支援体制の整備

<ul style="list-style-type: none"> ・人材の裾野を広げることが必要。かつて看護師不足のとき、衛生看護学科があちこちにできた。今、県内の高校では福祉科が南砺福野高校に一つあるだけだが、同じような発想があってもいいのではないか。 ・介護現場での福祉用具の導入など、働きやすい魅力ある職場をつくっていかないといけない。 ・一番の課題は人材確保。特に介護職は深刻で、24時間対応訪問介護などをしたくても人がいない。退職者なども集め、育成していかないと(地域包括ケアは)達成できない。 ・介護の資格を持っていながら介護の仕事をしていない人の力を活かせないか。 	<p>保健・福祉の人材養成と確保</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターに配置される3職種のうち、保健師は全部の地域包括に配置されていない。また、民間委託も多い。地域包括支援センターの機能を発揮できるような体制づくりが課題である。 ・市町村の会議では、地域包括支援センターについて、高齢者だけでなく、障害者や引きこもりの子どもたちなども合わせて幅広くサポートしていかないといけないとの意見があった。 ・地域で支える体制づくりのためには、地区の社会福祉協議会を中心とした基盤づくりも大事な課題 ・地域の介護力、看護力などを確認しながら地域包括ケア体制を形作るのが地域包括支援センターの役割だとすると、生活全体に対応できる体制が必要。 ・在宅の介護を支える人材の確保が課題。介護力が足りない中で、どうやって助け合っていくかという視点で、地域での取組みを期待したい。 ・小規模型デイサービスが地域密着型サービスに入ったとき、地域包括支援センターのサテライトとして相談機能を強化すれば、地域包括支援センターの役割を補完できるのではないか。 ・精神障害者も地域包括支援センターを利用している実態がある。市町村の役割かもしれないが、きちんとした体制づくりが必要だと思う。 ・社会福祉協議会が取り組んでいるケアネット21活動で、地域住民が声かけ、見守りなどを一生懸命やっているが、デイサービスなどの専門職が入ると、手を引いてしまうというケースを聞く。地域包括ケアの課題だと思う。 ・地域包括ケアシステム推進会議での意見を見ると、いろいろな立場の方が協力的に考えてくれている。何かあったときにどこに連絡し、どうしたらよいか分かるように、県が指示してくれれば動きやすいと思う。 	<p>総合的な支援体制の推進</p>
<p>ケアマネジャーが利用者本位の立場に立てば在宅介護が進められるはずだが、実際には施設への入所をめざす家族本位のケアマネジメントになっていないか。</p>	<p>介護サービスを支える人材養成と資質の向上</p>